

櫻守の会

2024年8月号

2024年8月1日(通巻303号)
発行: 櫻守の会代表 近藤 茂
〒665-0485 宝塚市栄町3-4-10-505
会員数 96名(7月25日現在)
HP: <https://www.sakuramori.net/>

街歩きとDIY

本多 則雄

2018年大阪北部地震時に、逆瀬川から大阪市西区の勤務地まで徒歩出勤しました。普段の運動不足から次の日、関節痛になってしまいました。それ以降、長時間徒歩移動できるよう街歩きをはじめました。試行錯誤して複数の細街路徒歩ルート(逆瀬川～淀川)をつくり、地図を見ずに歩いていました。久しぶりにあるルートを歩くと、目標にしていた特徴のある建物で右に曲がろうと思い歩いても当該建物がなく、地図アプリのお世話になりました。後日、当該ルートを逆行すると、目標にしていた建物が取り壊されて更地となっていました。一つの情報だけを頼りにするのではなく、複数の情報を持ち活用することの大切さを痛感しました。街歩きの延長で宝塚周辺の里山を歩きだし、櫻守の活動を見学し、入会させていただきました。

DIYは20年くらい続けています。直近では、西日対策用にひさし代わりにパーゴラ(長さ2.7m、高さ2.9m、幅1.2m)を作りました。事前に設計図を書き、資材を買いそろえました。所定の長さに販売店で切断してもらいました。一人で組み立ててみるとバランスが崩れてきて仮設材(補助材)が必要になり、仮設材用の資材を追加購入し、私が鋸で所定の長さに切断しました。その時、鋸で木を切ることは難しいと感じました。昨年外壁塗装を実施した際、当該パーゴラの解体が必要になりました。外壁塗装完了後、解体資材を再利用する前提で解体しました。制作時は解体を前提に組み立てしていなかったのが、難儀しました。将来を見越して計画性が持つことが大切です。現在5年後解体すること前提に、ボルト接合に変更、老朽化した部材の取り換え、塗装劣化の激しい箇所を試験施工(木材表面にプラスチック貼り付け)の作業中です。

2023年6月末に退職し、嘱託員として働いていた仕事も今年6月に辞めることとしました。7月以降櫻守の活動機会を増やしたいと思います。よろしくをお願いします。



***** 目次 *****

- P1 序文: 街歩きとDIY
- P2 2024年7月度活動実績表
- P2~4 活動報告: 桜の園、青葉台、ゆずり葉の森、山手台、武庫山の森
- P5 お知らせ・案内: 運営委員会報告、作業技術習熟度チェックリストの件
- P5~8 櫻守ひろば: 北摂里山大学を受講して①、オオキンケイギク駆除大作戦に参加して、
廃線敷の八重桜は“奈良の八重桜”?、会員紹介
- P8 活動予定表

＜ 2024年7月度 活動実績表 ＞

月日	活動地・参加者 ()内は会員外	天候	作業内容	人数
6月23日 (日)	桜の園(亦楽山荘)	雨	雨天中止	
6月27日 (木)	青葉台 13名	曇り	(北逆瀬台口、キツネの森) 中小枯れ松、枯れ木の伐採処理、常緑樹間伐	6
			(青葉台口～南奥湧水路) 草刈り	7
6月29日 (土)	ふらざこむ1 8名	曇り	会報印刷/運営委員会	8
7月3日 (水)	桜の園(亦楽山荘) 16名	晴れ	(赤松植樹地) サクラ周辺の除草・間伐	5
			(滝見の道・モジビューポイント奥谷側斜面) 常緑灌木間伐、アラカン伐採	6
			(滝見の道・モジビューポイント奥) 路肩補修	5
7月5日 (金)	ゆずり葉の森 14名	晴れ	(集合広場/ゆずり葉ピーク路/コバ/マツハツツジ回廊) 松、コナラ等枯れ木伐採	7
			(県宝谷平・入口部～奥十字路) 笹、下草の刈り取り	7
7月7日 (日)	武庫山の森 19名	晴れ	(宝松苑ルート) 大桜1号付近の土留め、連絡道の枯コナラ処理と土留め	9
			(武庫山ルート) 簡易堰堤付近のササ刈りと東口付近の草刈り	4
			(入口から東広場) フェンス沿いの草刈り	6
7月11日 (木)	桜の園(亦楽山荘)	雨	雨天中止	
7月16日 (火)	山手台 16名	晴れ 後曇り	(北斜面; 水平道) クズ・イバラ・灌木の除伐	6
			(北斜面; 平地) 草刈り、桜周りの草引き、クズ根掘り	4
			(アジサイロード) 草刈り、萌芽枝の除伐	4
			(大階段) 草引き、清掃	2
7月20日 (土)	武庫山の森 16名	晴れ	(入口広場) 入口周辺から広場の草刈り	8
			(東広場) ササ刈りとフェンスの草取り	8
延べ参加人数				102

＜ 活動報告 ＞

桜の園 (亦楽山荘)

7/3(木) 晴れ まず朝一番で路肩補修用の杉板や鉄筋を大量に現場まで荷揚げせねばならず、全員で分担して運び上げ、蒸し暑い中大汗をかきました。その後3班に分かれ、1班は赤松植樹地で桜周辺の下草刈りと灌木の除伐を行い日当たり、風通しの改善を図りました。滝見の道のモジビューポイント奥では下側急斜面での常緑樹間伐の班と、その近接した園路で、担ぎ上げた資材を使用しての路肩補修班に分かれて作業しました。間伐班の作業する斜面は雨上がりの急斜面で滑りやすく、補助ロープを張っての作業でした。路肩補修班では運んだ杉板12枚、鉄筋30本強は使い切りましたが、まだ若干の補修が必要な箇所は残っています。

※桜坂のヤマザクラの倒木あり。数日前の風雨で倒壊したものと推定します。次回活動日に玉切りと、見苦しくない程度の集積処理をする予定です。 (坂田 記)



赤松植樹地 灌木伐採



滝見の道 急斜面間伐後



桜坂 ヤマザクラ倒木

青葉台

6/27 (木) 朝からドンヨリした曇り空でした。4、5月の活動が雨天中止となったため、活動地は緑が濃ゆく、草木が溢れていました。草刈りを中心にした人員構成で陽光広場とその周辺の草刈りを行い、眺望をスッキリさせました。更に北逆瀬台口～キツネの森の間で、枯れ木の伐採倒木処理を行い見違えるほど見通しがよくなりました。(加賀野 記)



陽光広場桜並木周辺の草刈り



小林南大堰堤上面の葛等を刈り取り



キツネの森北側急斜面の枯れ木伐採

ゆずり葉の森

7/5 (金) 快晴で徐々に気温が高くなり、各自適宜休憩と給水して熱中症対策を取りながら作業しました。5、6月の活動が雨天中止となったため、活動地は草木が大成長し、園路は狭められ森は見通しが出来なくなっていました。1班は県宝谷平の平坦部、狭い園路の両脇、白瀬川支流の川床と両崖面の草刈りを行いスッキリさせました。他の1班は集合広場周辺～コバノミツバツツジの丘～ゆずり葉ピーク～モチツツジの谷とチェーンソー等を携えて移動し、大～小径の枯れ松やコナラ、雑木の伐採と倒木、折れ枝の処理を行いました。(加賀野 記)



県宝谷平平入口部で笹、下草の刈り取り



県宝谷平白瀬川支流の川床両崖面の雑木、下草を刈り取り



集合広場で、枯れた中径枯れ元気松を伐採

山手台

7/16(火) 不安定な天気が続き今月も雨天中止かと心配しましたが、何とか実施することが出来ました。北斜面では、クズやイバラおよびアカメガシワの除伐を行いました。2か月前に伐採したクズがまた伸びて以前の状態に戻ってしまうほどの旺盛な生長にたじたじです。同じく桜の植樹地では、桜周りの草引きや周囲の草刈り・クズ根の掘り起こしを行いました。アジサイロードでは、長く伸びた草の刈り払いや萌芽枝の除伐を行いました。大階段も少人数のため部分的となりましたが、草引きと清掃をしてきれいにしました。

(岡 記)



久しぶりの晴れ間で準備体操



アジサイロード；草刈り



南斜面に咲くヒメヒオウギスイセン

武庫山の森

7/7(日) 猛暑の七夕。今回から夏季の半日作業としましたが正解でした。大桜1号付近の土留めの仕上げをしました。連絡道に枯コナラが倒れて道を崩していました。谷筋で水の通り道でもあったので緊急の土留め作業をしました。武庫山ルート of 簡易堰堤付近のササ刈りをして道の確保をしました。一緒に東口付近の草刈りをして入り易くしております。入口から東広場までのフェンス沿いの草刈りをしました。少し残ったので次回に続きます。

7/20(土) 梅雨明け目前の猛暑のなか、みんなで草刈りをしました。入口から入口広場は平面で刈りやすいので刈払機講習会を最近受講された方を中心に作業をしていただきました。既に経験もされており皆さんスムーズに作業をされており、作業後のメンテナンスもしっかりしていただきました。入口だけに刈った草を熊手で集めて整理したのでスッキリ印象になりました。東広場のササ刈りと前回やり残したフェンスの草取りをしました。木陰もある場所でしたが大鎌を振るった方は汗だくになっておられました。ササの刈り残しがあるので、次回に続きます。

(横山 記)



連絡道の土留め



入口付近の草刈り



東広場フェンスの草取り

< お知らせ・案内 >

運営委員会報告 (2024年6月度)

代表 近藤 茂

2024年6月29日(土) 9:40~11:25 ふらざこむ1

- 雨天時の対応・・・①今年は天候不順の日が多く、活動を行うべきかどうかの判断に迷うケースが多く生じている。討議の結果、活動実施/中止の判断基準は変更せずに当面現行のままとした。
②中止が続いて活動地が荒れて次回の活動日まで待つことが出来ない場合は、活動地幹事の判断で特別作業日を設定し、代表からメール会員の皆さんに特別作業日を連絡することにした。
- 総会で出された質問・意見等の検討
 - ① 使用しているヘルメットは支給して貰って以来一度も交換していないが、大丈夫か？
 - ・ 現行の黄色の FRP 製ヘルメットは、傷や傷みが無ければそのまま使用可能と判断した。
 - ・ 体験参加者用のヘルメットは現行の黄色の FRP 製のみを有効とし、旧型のは強度に不安があるので廃棄処分することにした。
 - ② 会員、特に新入会員の技術向上について・・・会員の皆さんに「作業技術 習熟度チェックリスト」をお送りしています。この下の記事をお読みください。
- 会の諸活動のあり方の検討・・・一般市民、特に子供たちを対象とした新たな企画等の可能性検討
 - ・ 櫻守の会がどのような点に特長を発揮できるかについて議論した。(継続審議)

「作業技術 習熟度チェックリスト」送付の件

運営委員会

今年の総会で、会員皆さんの習得技術について「会員はすべての技術を身に着けることが好ましいが、実情は本人任せである。新入会員が経験すべき作業内容を設定し、ベテランが指導するような仕組みを作ってはどうか。」との提案がありました。

運営委員会で本件について検討した結果、櫻守の会が日常の活動で行っている殆どすべての作業を記載した「作業技術 習熟度チェックリスト」を作成して配布する。会員の皆さんはこのチェックリストにより自己診断を行い、各自で習熟目標を定めてレベルアップしてもらったら良いのではないかと結論に至りました。

会員の皆さんに今月度の会報と併せてチェックリストお送りしています。また各活動地で活動に参加した皆さんには印刷物を配布することになりました。チェックリストの表題のすぐ下に使い方を記載していますので、これを読んでご活用ください。

< 櫻守ひろば >

「北摂里山大学」を受講して ① (全9回)

清水 厚真

「北摂里山大学」という市民大学講座をご存じだと思います。この度、受講の機会を得ましたので、紙面を借りて、里山整備活動の意義や現状、訪問した活動団体の情報を載せることにより、森林ボランティアの魅力や人的交流に資するための情報を共有したいと思います。

2023年度里山大学の講座は全9回設定され、それに沿った連載とします。主に講義や実習の内容、加えて訪問した団体の活動状況などを盛り込みます。以下は、今回の全カリキュラムで、下線部は連載で取りあげて強調したい内容です。

- | | | | | | | |
|-----|--------|---------------------------------------|--------------------------------|--------|----------|----|
| 第1回 | 5月20日 | 宝塚市西公民館 | 開校式 | 里山林の基礎 | 里山放置林の整備 | 講義 |
| 第2回 | 6月3日 | 川西市黒川・妙見地区 | 照葉樹林、台場クヌギ、妙見の森、妙見山のブナ林 | 観察 | | |
| 第3回 | 6月24日 | 川西市水明台エドヒガンの森 | 作業安全の座学と実技講習 | | | |
| 第4回 | 8月5日 | 県立人と自然の博物館、皿池湿原 | の生態系の見学と保全管理 | | | |
| 第5回 | 10月7日 | 有馬富士公園(三田市有馬富士自然学習センター) | 里山林における植生調査 | | | |
| 第6回 | 10月21日 | 有馬富士公園(三田市有馬富士自然学習センター) | 植生調査に基づく間伐実習 | | | |
| 第7回 | 11月11日 | 県立一庫公園 黒川・桜の森 菊炭窯見学、黒川桜、森クヌギ林見学、クヌギ植樹 | | | | |
| 第8回 | 11月25日 | 昆陽池公園、瑞ヶ池公園 | 里山林の自然観察、野鳥島観察、猪名の笹原見学 | | | |
| 第9回 | 2月3日 | 宝塚市西公民館 | 北摂里山魅力づくり事例報告、講座のまとめ、防災林整備、修了式 | | | |

北摂里山大学は、2012年（平成24年）第1回が開催され、13回を数えます。当会では、里山整備の知識・技能の向上と他団体との交流を目的に、毎回1~2名派遣しており、自費での受講を含めると16名が修了しています。連載の最後では、受講された会員の皆さんの感想や、受講の成果について記載する予定です。

はじめに 北摂里山大学（市民講座）の紹介

主催する北摂里山博物館のホームページの紹介では、「都会近くに残されたひょうご北摂の里山地域一帯をフィールドに里山の再生と管理、生物多様性、環境学習、歴史・文化などを楽しく学ぶことができます。実習を中心としたプログラムを中心に里山の保全や地域の活性化の活動に取り組む人材を育成します。」とあります。



北摂里山大学募集パンフレット 一部

- ・楽しく学べる：里山管理だけでなく、生物多様性、環境学習、歴史・文化などを楽しく学びます。
- ・豊富なフィールド活動：北摂里山をフィールドに里山林整備、植物観察、毎木調査（林業用語、一定区域の全樹木を調査すること）などを実習します。
- ・充実した講師陣：県立大学等の研究者や森林ボランティア、環境活動団体などを講師として迎えます。
- ・広がるネットワーク：保全活動団体との協働作業を通じて交流を深め、ネットワークを広げます。

とあるように、実際受講して感じたことは、里山の学術的な知識・技能＝頭脳ばかりでなく、里山の多様なフィールドを使った活動＝体を使った講座であり、日頃の櫻守活動の裏付けになりました。また、OB会運営もされており、今後の情報交換の場が広がったと思います。

市民大学の雰囲気伝えるために、受講生の皆さんの動機や経歴などについて、伺い知ったことを簡単に記しておきます。当初は、失礼ですが私のような現役引退者の集まりと想像していましたが、現役で環境関連の会社や組織に従事されている方や、植物関係の会社従業員の方も多くいらっしゃいました。もちろん、既に里山整備活動の団体に所属されている方も多くいらっしゃいました。しかし、動機は、皆さんほぼ同じで「里山に関わる仕事や趣味の集まりに参加し、より深く理解したい。」との思いは共通の様でした。

～以下・次号～

「オオキンケイギク駆除大作戦！」に参加して 市原 直

宝塚市主催、宝塚市自然保護協会共催で逆瀬川川原のオオキンケイギクの駆除活動が行われました。毎年駆除活動が実施されていますが、今年から規模を拡大して実施されたとのこと。オオキンケイギクはコスモスに似た黄色く美しい花を5~7月に咲かせます。繁殖力が強く特定外来生物に指定されています。5月、6月に全3回開催された駆除活動のうち1回目5月25日(土)と2回目6月8日(土)に参加したので報告します。1~3回目それぞれ33名、46名、19名の参加であったとの市の発表でした。私が参加した2回とも晴天に恵まれました。未就学児・小学生を含む親子連れ、高校生、および多数の比較的年配者が参加していました。



5月25日駆除作業(宝塚市環境エネルギー課の了解を得てHPから転載、人物顔をトリミング)

1回目は9時30分に西山小学校敷地内にあるウエル西山に集合し、自然保護協会の方からオオキンケイギク駆除の意義と駆除のための引抜き要領の簡単な説明を30分受けた後、逆瀬川右岸駅近くPL教会付近に徒歩移動しました。川原に降りて10時15分頃から作業を開始し、正午前に終了、解散でした。作業時には40リットルサイズ程度のビニール袋が配布され、抜いた株をその場で詰めました。花は満開でしたが実は見当たりませんでした。参加者皆さんは集中して作業して、児童も楽しんで作業していたようでした。成果として84袋、概算500kgが駆除できたとの市の発表でした。

2回目は、前回経験者は作業前講習は飛ばして逆瀬川現地の前回より下流側での集合でした。ウエル西山

からの移動者と合流して 10 時半頃から作業開始。すでに実がつき始めていて熟して飛び散りそうなものもあり、そのような株は種の散乱を防ぐために実のすぐ下で茎を折って袋に入れるようにと指導を受けました。今回は櫻守の会代表の近藤さんも参加しました。前回よりもずっと気温が高い暑い中の作業でした。今回は川原に葎がしっかり伸びていて駆除採取の障害でした。108 袋、概算 530kg が駆除できたとのことでした。

作業に参加して、若干の疑問がありました。参加者の多くは花株駆除に集中していたようで、若い未着花株は抜かれずに多く残っていました。今年の種の拡散防止という最重要点では花株駆除集中で良いのですが、多年草なので若い株が残り来年の繁茂を防ぐ効果が減殺されるのではないかと懸念しました。未着花株を抜くことに主催者側から指導はありませんでした。市の WEB で川原の外観で駆除成果を説明する写真掲示がありますが、翌年の繁茂を防ぐ駆除効果の定量評価があれば参加者に意義が深く感じられるのではないかと感じました。

草抜き道具持参についての事前指導はありませんでした。砂地なので根ごと抜きやすいものの、地上で切れて根が残ることも多く、効果的効率的な作業のためには根掘りの道具が必要と思い持参しました。

詳細な駆除活動報告が市のホームページに紹介されています。

<https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/kankyo/kankyoseikatsu/1014015/1011505.html>

オオキンケイギクは逆瀬川系流域の川原に広く繁茂しています。櫻守の会活動地付近の白瀬川にも繁茂しています。生活道路路肩にも繁茂しています。地域の自治会や有志だけで駆除することは可能ですが、特定外来生物の運搬等は法令で規制されているので、実施には事前計画と準備が必要なようです。環境省から特定外来生物(植物)の運搬と保管に関する通知があり、法令に適合する取扱い要領が示されています。

<https://www.env.go.jp/nature/intro/1law/files/150109sekoutuuchi.pdf>

廃線敷の八重桜は“奈良の八重桜”？

さくら守太郎

小倉百人一首 61 番 “いにしへの奈良の都の八重桜 けふ九重にほひぬるかな”

作者の伊勢大輔は、藤原道長の娘で一条天皇に入内した彰子（NHK の大河ドラマ “光る君へ” では 7 月 14 日に入内）に仕えた女房の一人である。中宮 彰子に仕えた女房仲間には、紫式部、和泉式部、赤染衛門など高名な作家や歌人が多数おり、華やかな王朝文化を築き上げた。

現在、国の天然記念物に指定されている東大寺の知足院の“奈良の八重桜”が、伊勢大輔が詠んだ“奈良の都の八重桜”ではないか、と言われてしている。この桜はカスミザクラの変種であり、スラリとした樹形の高木に小ぶりの八重の花をつける。

廃線敷の桜の園の手前、長尾山第 2 トンネルと第 3 トンネルの間に品種不明の八重桜が約 20 本植えられている。この桜は葉柄に毛があるのでカスミザクラの変種と考えられ、胸高直径 25cm、樹高が 10m 近くもある。花は小ぶりの八重咲であり、“奈良の八重桜”に非常によく似ている。しかしながら“奈良の八重桜”は 4 月下旬～5 月上旬と非常に遅く咲くのに対して、廃線敷の八重桜は 4 月 10 日頃に咲くので、品種は異なるが親戚と



知足院の“奈良の八重桜”



廃線敷の八重桜

考えられる。

この廃線敷の桜は 2000 年頃に兵庫県による“ふるさと桜づつみ回廊”事業で植えられたものであるので、兵庫県庁の担当部署に品種名を問い合わせたところ、「帳面にエドヒガンと載っている」と全く考えられない回答が返ってきた。どうしてこのような事が起こるのかな！。

会員紹介 佐々木宏二さん

2024 年 5 月に入会した佐々木です。1959 年西宮市に生まれ、2000 年宝塚市に越してきました。高校の頃から山や森に傾倒し、その後大学から職に至るまで人と自然の接点を対象に活動してきました。幼い頃から眺めてきた六甲山は、高校時代は山岳部のフィールドとして、大学時代は研究対象として、武庫山に越してきてからは生活環境の一部として関わってきました。今年末の退職を見据え、六甲山など身近な山や森により深く関わっていきたく思い入会しました。

まずは身近な武庫山の森の活動に参加していますが、近藤代表にご紹介いただいた「櫻男行状」を読んで笹部新太郎の業績を知り、桜の園にも興味が湧いてきました。自分が持つ環境づくりの技術が役立つなら、どこでも積極的に参加したいと考えています。どうぞ、よろしくお願ひします。



< 活動予定表 >

月別行事予定表

8月		場所等	9月		場所等
8月1日	木	廃線跡草刈り	9月1日	日	武庫山の森
8月4日	日	武庫山の森	9月4日	水	桜の園(亦楽山荘)
8月6日	火	桜の園(亦楽山荘)	9月9日	月	ゆずり葉の森
8月8日	木	廃線跡草刈り(予備日)	9月12日	木	桜の園(亦楽山荘)
8月15日	木	桜の園(亦楽山荘)	9月17日	火	山手台
8月17日	土	武庫山の森	9月21日	土	武庫山の森
8月20日	火	山手台	9月25日	水	青葉台
8月23日	金	ゆずり葉の森	9月28日	土	会報印刷・運営委員会
8月25日	日	桜の園(亦楽山荘)	9月29日	日	桜の園(亦楽山荘)
8月28日	水	青葉台			
8月31日	土	会報印刷・運営委員会			

集合時間：桜の園(亦楽山荘) 親水広場 9時 50 分、武庫山の森 9時 50 分、他の 3 活動地は 9時 30 分。

天 候：当日朝 6時 55 分 NHK TV 天気予報で、兵庫県南部の午前・午後いずれかでも降水確率 60% 以上の時は中止します。

【編集後記】 近年、夏の猛暑が「危険な暑さ」と報道されるようになってきました。熱中症には厳重な警戒が必要ですが、皆さんは活動に際し水分をどの程度準備されていますか。登山趣味のサイトで調べると、5 時間の行動で失う水分量は、体重 50kg で 1,250 ml、体重 60kg で 1,500 ml、体重 70kg で 1,750 ml だそうです。補充が必要な給水量は、500 ml ペットボトル 3 本分以上となります。真夏の活動では、更に増量するべきでしょう。筆者は、4 本(水 2 本、凍ったペットボトル、スポーツドリンク)ですが、皆さんは如何ですか。塩分補給と合わせ、準備を怠りなく、厳しい真夏の活動を乗り切りましょう。(清水 記)